

耳公民館だより



第84号 令和8年8月



5月の田植えから2か月あまり、「元気に育てむろびこ米」と願いが描かれた看板が立っています。かかしは元来、耕作する人間に似せて鳥を遠ざけるねらいですが、鳥も学習して動かないものは効果が弱いといわれています。地域の皆さんが看板やかかし、稲のできばえを見に来てくださることが一番効き目があるかと思います。

(中央小5年生制作のかかしと看板：中寺)

立ち寄り型講座「ふらっと」ニュース

毛糸のモンスター

7/23(木) 9名の子どもたちが挑戦

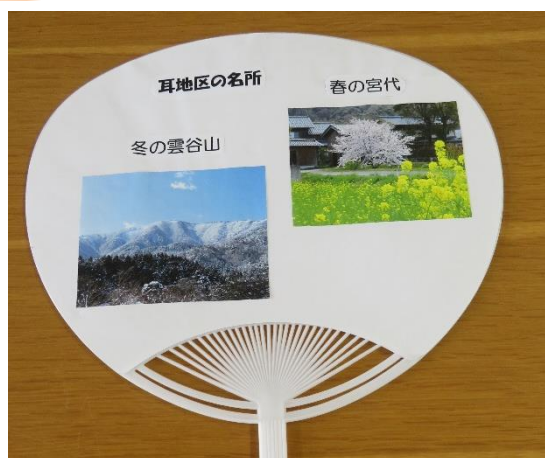


もつれたり、ほどけたり...
なれば、いくつも完成

手作りうちわ

手作りといっても、竹の骨組みから作るのは職人さんでもないと無理です。
立ち寄り型講座では、プラスチック製の骨にシールを貼る簡単な方法を使います。

耳公民館の定番、切り紙とシールで



耳地区の美しい景色の写真
たくさん用意しています！

耳公民館にお声かけください！

自分で絵や文字を描くのもいいですね

介護予防のための健康教室
(健康福祉課と共催)

「お口の健康」

7/28(火) : 7名



「かめる口」は全身の健康につながります

次回はこちら

介護予防のための

健康教室



内容	意外と知らない！？くすりの話・薬局の話
日時	9月15日(火) 13:30~14:30
場所	美浜町耳公民館
対象者	65歳以上 定員20名ほど (無料)
講師	カドノ薬局市立病院前店 薬剤師 角野 雅之 氏
持ち物	飲み物 あいあいポイント手帳またはスマホ ※美浜町あいあいポイント事業・浜さんカード対象 ※美浜町あいあいアプリでも申込みできます。 ※耳公民館と健康福祉課の共催事業です。



薬の飲み合わせや正しい服用方法など、実験なども用いて
薬の常識全般に関することを薬剤師からお話します。

【お問合せ】 美浜町耳公民館 0770-32-0027
美浜町健康福祉課 0770-32-6704

館長のつぶやき

うちわ

「今日も暑いなあ」と言いながら、汗のにじんだ顔をうちわであおぐ。映画やテレビで見えるような日本の夏ですね。最近では首からさげる携帯扇風機なるものが幅をきかせています。

電動の機械とちがって人力で使ううちわは、手が疲れないように軽く作られています。歴史的に果たしてきた役目はとても重いものです。

相撲の行司が持つ軍配もうちわの一種で、戦国時代に武将が使った軍配うちわが元祖です。木板や鉄板でできていて、家紋が入っていました。自軍の指揮をとるためだけではなく、戦略の占いや矢石よけにも使われました。

江戸時代の町火消では畳一畳ほどもある大うちわで、火の粉をとばして類焼を防ぎました。水だけではなく、風も使っていたんですね。農業でもうちわで風を起こしてもみの重さで選別するという脱穀機の走りとして使われました。

明治に入ると広告うちわとしての需要が高まり大量生産により国内だけでなく海外へも輸出されるようになりました。そして昭和四十年代には、三大産地の一つ丸亀の会社がプラスチック製の骨のうちわを販売し、伝統工芸をのぞいては現在も主流となっています。

ここまでは強い風のイメージでしたが、付き人が鳥の羽根のうちわで高貴な人に風を送るときは直接当てないようにしたとか、家庭でも子どもには自然に近い柔らかな風を当てたという話もあります。耳公民館にも地域の皆さんから常日頃、やさしい柔らかな追い風を送っていただいています。